

【様式1】

団体名 糸満市立高嶺小学校	連絡先 TEL : 098-994-2310 Eメール : takasyo@takamines.city.itoman.okinawa.jp
-------------------------	--

1 実践事項「幼・こ・小・中・高・地域・関係団体との連携（幼小・小中・中高・地域）」

タイトル：「 人とのつながりを通じた学びの姿 」

2 実践内容

(1) コミュニティスクール実践校としての取り組み（地域との連携）

①桃原塾

学習の仕方を重点に、その子が今持っている力とペースに合わせて、基礎的・基本的な学習からはじめ、勉強の楽しさや自ら進んで学習することの大切さを身に付けることを目的に取り組んでいただいている。（毎週月・火・木・金の放課後、2学年対象）

②ゆいまー塾

基本教科の国語・算数の復習等を中心に学習支援教室を実施し、地域全体で児童・生徒への学習支援を図り、学ぶ楽しさや学ぶ意義を伝えながら児童・生徒の学習習慣の定着と学力向上をめざすことを目的に取り組んでいただいている。（毎週月・水・木の放課後、1～3学年対象）

③南山会

「等しく学習が分かる権利がある」という理念のもと、子供たちの学習活動に寄り添い学習や学校が楽しくなるよう援助することを目的に取り組んでいただいている。（毎週火・木・金の算数授業時、1・2・3・4学年対象）

(2) 体験活動を重視した授業づくり（関係団体との連携）

海洋教育を通じた沖縄水産高校との連携

サンゴ礁に住む生きものを観察し、海へ親しみ関心を高める（2年）、かまぼこ作りを体験することで、食品加工の工夫について知り、海からの恵みに感謝する心を持つ（4年）、ウニの人工授精体験を行うことで、著しい減少傾向にある個体の資源回復を図る取り組みについて知り、海洋資源の大切さについて理解する（5年）、前年度人工授精を行ったウニ（約3500個体）を放流する体験を通して、自然環境保護の意識を高めるとともに、自身の身近な生活について振り返る機会とする（6年）などの体験活動を通して、発達段階に応じた内容の学習を沖縄水産高校の協力を得ながら行っている。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



4 成果

- ・放課後や授業時に個別に関わっていただき、学習意欲の向上や学習内容の理解深化など学力向上につながった。
- ・沖縄水産高校との連携で専門的知識を享受しつつ、興味、関心を持って取り組むことができた。

5 課題

- ・コロナ禍において支援の継続が困難な状況が幾度もあり、十分な回数確保ができなかった。
- ・うみんちゅ科（特例教科）がなくなるため、海洋教育をどのように位置づけるか思案中である。